

最高気温が10℃を割り、時折身を切るような冷たい風が吹きました。1年で最も寒い時期で例年は参加者の少ない月ですが、今回はいつになく大勢でたくさん歩きました。途中、急な斜面の登り下りや南尾根の崖上りでは子どもたちの元気な声が飛び交いました。

里山の家での持ち込み観察項目：オオゴキブリ、カラスウリの種

先月つぼみが膨らんでいた**コウバイ**の花は半分ほど咲いていました。花びらは5枚、下の方から咲いている、少しい匂い、など子どもたちと一緒に観察してわかることを言い合いました。近くで子どもが拾った**鳥の巣**は**メジロ**のものと推測しました。つる状の**ヤマノイモ**の種が子どもたちの興味を引いたようでした。



コウバイ



メジロの巣



ヤマノイモの種

南尾根に向かって急坂を上りました。途中マンリョウや**センリョウ**、**マンネンタケ**、**ヒイラギ**などを観察しました。マンネンタケは薬用に高値で取り引きされるものもあるとのことでした。



センリョウ



マンネンタケ



ヒイラギ

オオカマキリと外来種の**ムネアカハラビロカマキリ**の卵鞘も見つかりました。更に子どもたちは**崖上り**に挑戦し、一部の大人も上って行きました。南尾根沿いでは、観察した**アラカシ**の**冬芽に白い卵**が産みつけられていました。その場では**ムラサキシジミ**の卵と紹介されましたが後に別の方の卵だろうとの訂正が届きました。肉眼では捉えられないほどのサイズでしたが、そこにあると思って探せば見つかるものなのだそうです。



オオカマキリの卵鞘(右)と
ムネアカハラビロカマキリの卵鞘



崖上り



アラカシで見つかったガの卵

サクラの幹で**シロフユエダシャク**と**ヨコヅナサシガメ**の幼虫が集団で冬越ししている姿を観察しました。倒木の樹皮をはがすと**シロアリ**の巣ができていてたくさんのシロアリが慌てた様子で動きまわっていました。



シロフユエダシャク



ヨコヅナサシガメの幼虫



シロアリ

ネズミモチの葉を見るとハモグリバエの幼虫の食痕がたくさんできていました。葉の緑と食痕の白のコントラストが美しく映りました。枯れ木の中で見つけたウバタマコメツキは裏返して見るとすべての脚をぴったりと身体に沿わせていましたが、急に跳ねて参加者を驚かせました。ムクノキの樹皮に触れてみると滑らかな感触でした。



ハモグリバエの食痕



ウバタマコメツキ(腹側)



ムクノキの樹皮

ネジキの艶やかな赤い冬芽は三大美芽のひとつと紹介されました。細いヒサカキの地面近くでゴマフボクトウのフンが見つかりました。幹の根元近くにフンの排出孔もありました。10年ほど前の自然観察会ではたびたび見かけるこれが何であるのか謎でしたが、近年になって昆虫に詳しい参加者が増え、おかげで正体を知ることができました。落ち葉の間をトビズムカデが這っていて、見つけた子どもが持参の入れ物で捕らえました。



ネジキの冬芽



ゴマフボクトウのフン



トビズムカデ

田んぼの周辺ではタビラコの仲間やタンポポのロゼットが多数見つかりました。つどいの丘ではシンジュの樹皮や冬芽を観察しました。また今月もエノキの根元の落ち葉の裏で冬を越すゴマダラチョウの幼虫を見つけることができました。周囲ではオオイヌノフグリが花を咲かせ、春の訪れの近いことを知らせていました。大坂池周辺の五分咲きのものと比べこの付近のハクバイは満開に近い状態で、日当たりの差で花の咲き具合に違いが出るのでは、との意見が出ました。寒い中にも生きものが春を待つ姿が随所に見られた観察会でした。



タンポポのロゼット



シンジュの冬芽



シンジュの樹皮



ゴマダラチョウの幼虫(頭部)



オオイヌノフグリ



ハクバイ

平和公園での観察項目(観察順): ドロバチの巣, コウバイ, ハクバイ, メジロの巣, イラガの繭, イボタノキの実, オオカマキリの卵鞘, ヤマノイモの種, オオハナワラビ, キマワリの幼虫, マンリョウ, ムネアカハラビロカマキリの卵鞘, マンネンタケ, センリョウ, ヒイラギ, アラクシについたガの卵, モリチャバナネギブリ, クロガネモチ, クスノキ, シロフフユエダシヤクのオス, ガの幼虫, ヨコヅナサシガメの幼虫, シロアリ, ケブカカスミカメ, ウバタマコメツキ, ハモグリバエの食痕, ウバタマコメツキ, ソヨゴの虫こぶ, クダマキモドキの卵, ムクノキの樹皮, コクワガタの幼虫, キノコ, ネジキの芽, ゴマフボクトウのフン, シュンラン, トビズムカデ, マンネンタケ, アオスジアゲハの蛹, ナナホシテントウ, ロゼット状のタビラコの仲間, ジュズダマ, オオイヌノフグリ, セイヨウタンポポ, キリの樹皮, シンジュの冬芽, ナナホシテントウ, ソシンロウバイ, コカマキリの卵鞘, ゴミムシダマシ, ゴマダラチョウの幼虫, カプトムシの幼虫, カラスの巣, ハラビロカマキリの卵鞘, カイガラムシ